

社協だより

# 愛さぽーと

I support

vol.118  
2023.2



社協が取り組む

自分らしく暮らせる  
地域をつくる

## 市民福祉課

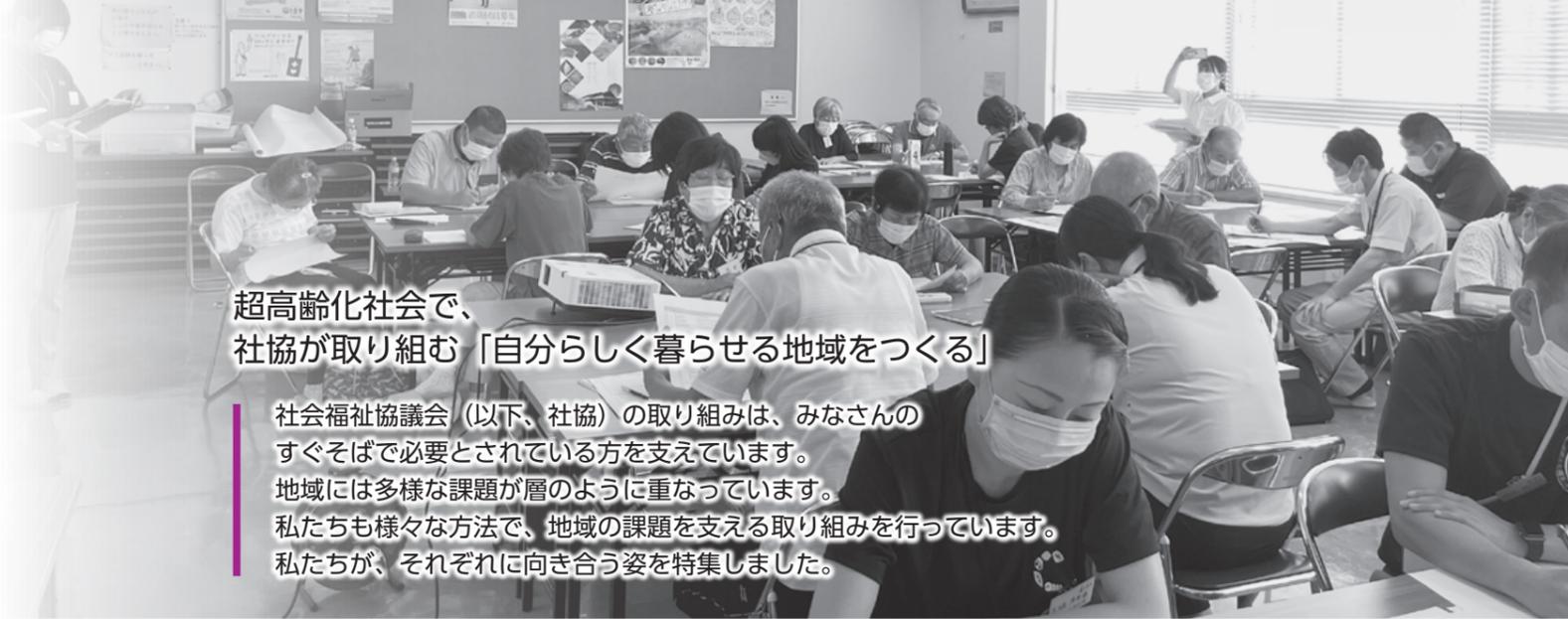
「老い」について考える。  
高齢者の未来をつくる地域づくり

## 地域包括支援センター

「その人」の人生を背景に。  
自分らしい暮らしを支える

## 訪問入浴事業

最期まで、お風呂はみんなの  
幸せ時間



## 超高齢化社会で、 社協が取り組む「自分らしく暮らせる地域をつくる」

社会福祉協議会（以下、社協）の取り組みは、みなさんのすぐそばで必要とされている方を支えています。地域には多様な課題が層のように重なっています。私たちも様々な方法で、地域の課題を支える取り組みを行っています。私たちが、それぞれに向き合う姿を特集しました。

### — 市民福祉課 —

## 「若い」について考える。 高齢者の未来をつくる地域づくり

「目からうろたえたのは『高齢者本人ができることは、やらせてあげる。』こと。本人のできない部分だけをサポートをすることが大事なんですね。」  
社会福祉協議会で開いたワークショップ、「ふくしの学び舎」参加者の感想です。

60歳で定年し、セカンドライフは高齢者の行事やゲートボールなど、みんなで余暇を楽しむ。

介護が必要になると、手厚い介護保険サービスや医療サービスを受け、最期を迎える。多くの高齢者が似ている老後の暮らしを辿る時代がありました。

超高齢化社会の今、社会構造やライフスタイルも変化し、これまでの「老後」のイメージとは異なる生き方や暮らし方が模索されています。

しかし、高齢者の継続的な就業や、個人の好みにあうような社会参加の方法など、高齢者が活躍するための課題はまだまだ残っており、多様な老後の生き方や暮らし方を見

つけられる社会までは遠く感じます。

私たちは、高齢者が職場や家庭で培ってきた得意や得意なことを活かしながら、「若い」を過ごせる機会をつくりたい。

決まったかたちに高齢者が合わせるのではなく、いろいろな選択ができる地域をみんなで目指したいという考えで『ふくしの学び舎』がスタートしました。

『ふくしの学び舎』は「その人らしい暮らしの支え方」の視点を学ぶワークショップ。「その人らしい」とは、今までの人生や生活で培ってきた習慣や、好み、こだわり、得意など、さまざまなことを意味します。

ちょっと元気をなくした高齢者が、元の生活に戻るためのアイデアを出す場を目指し、全3回、西部地区で開催しました。

参加されたのは、醍醐、高松、白岩地区の方。醍醐地区と白岩地区にある社会福祉法人の職員の方々も一緒です。

### 高齢者の元気は社会とのつながりから

高齢者について、知っているようでわからない。

まずその認識から出発し、「若い」がもたらす困りごとについて、家族や身近な方を想像して、グループで話し合います。

「今は回復したが、腰が痛くなったのをきっかけに興味活動に意欲がなくなり引きこもりがちになっている。」

きっかけは様々ですが、今までできていたことが、億劫に感じたり何らの理由でできなくなったりします。

でも、「高齢だから大変だろう。」と、何でも手伝うことは、本人が持っている力を奪ってしまうことになりかねません。

ません。

高齢者が元気でいるポイントは大きくふたつあります。ひとつは、高齢者が自分で決める、できることは自分で行うこと。手厚い助けが本人のできることを減らし、自信もなくなっていくます。

もうひとつは、「できることとや得意なこと、地域や社会とつなぐこと」。自分のために頑張るよりも、誰かに必要とされることが元気の源になるのです。

「この方の趣味を活かして、作品の展示会をするのはどうだろう。また意欲がわいてくるかも。」

「得意なモノづくりを、近所の人に教える教室を開催すると暮らしに張りがでるし、他の人とお話ができるよね。」  
「今まで作った作品を、子どもたち



のいる施設に貸し出しをし、楽しんでもらうと生きがいになるかな？」

「その人らしさ」をどう活かすと、社会とつながるか、「ふくしの学び舎」の開催を重ねることに、みんなが同じゴールを見据えたアイデアができました。

ときには「高齢者のできることを聞いて、活かす。私自身が高齢になったとき、そんな支援が受けられる？」参加者からの問い。

「ふくしの学び舎に参加し、話を聞くだけで社会に対する見方が変わる人はたくさんいると思う。若い世代に聞いてほしい。若い世代の人に今の社会を考えることは20年後、30年後自分たちが暮らす社会を作っていることなんだと少しでも感じてほしい。」

また、「高齢者の「できる」を活かす意識を多くの人が持てるとういと思えました。」  
「ふくしの学び舎」の取組

### — 地域包括支援センター —

## 「その人」の人生を背景に。 自分らしい暮らしを支える

### 好きなことは、その人の強みに

「今日作った鉢植えは、家のどこに置くと長持ちしますか？」

「そうだなあ、よく陽に当たるところかな。」

「先生、この鉢のクリスマスピックはどこで手に入るんですか？」

「100円ショップにはないよねえ。」  
植物の寄せ植え講座が終わり、お茶を飲みつつ、み

たくさんある地域へ。

みなさんと、私たちの取り組みはスタートしたばかりです。

地域や生活のご相談は  
社会福祉協議会市民福祉課  
ハートフルセンター2F  
☎ 83-13220

んなの会話が弾みます。

「NPO法人まごころサービ  
スさくらんぼ」(以下、まご  
ころ)で開催された「植物の  
寄せ植え講座」。植物を選ん  
で寄せ植えをした鉢に、クリ  
スマスらしい雪だるまやモミ  
の木などのピックをさしてア  
レンジしていました。

講座の「先生」とは、地域  
包括支援センターに、誰かと  
集える場を求めて相談に来  
た「ご本人」。長い間、持病

# 訪問入浴Q&A

Q 自宅で用意するものはありますか？

A タオルと入浴後の着替えを準備ください。バスタオル、シャンプー、石鹸はこちらで用意します。ご自宅で使用されているものもお使いいただけます。

Q 部屋の広さはどのくらい必要ですか？

A 1畳半ほどあれば大丈夫です。

Q 2階の部屋でも大丈夫ですか？

A 特殊浴槽は2つ折りになっていますので、階段を使用し搬入できます。事前にお伺い確認させていただきます。

Q お風呂のお湯の準備は必要ですか？

A 入浴車で沸かしホースを通してお部屋の浴槽に入れますので、必要ありません。

「それは楽しいねえ。」など、家族や趣味などの話をしながら、頭や身体を丁寧に洗います。リラクゼーション効果で、浸かりながらほとんどの方が眠ってしまいます。10〜15分程度の入浴時間だと、「気持ちよくて、



「ずっとお風呂に入れなくて、半年ぶりに入って気持ちよかったです。こんなにいいサービスがあったのは知らねがった。」と入浴後に赤くなった頬をゆるませながら、喜んでもらえたときには、「この仕事でよかったなあ。」とや

まだ上がりたくない。延長お願い(笑)」とリクエストされることもしばしば。そんな時は、身体に負担がかからない程度に、1分でも長く浸かれるよう本人の希望に寄り添います。利用する期間は、長い人で10年以上、短いと2回で終わってしまうこともあります。80〜90代の介護度が高い方も多く利用しています。

と向き合いながら生活を送っている男性です。現在も、体調や時間と相談しながら、植物を扱うお店で仕事をしています。空いた時間でサウナに行き、そこで知り合った方と話をすることが生活の楽しみでした。しかし、コロナの影響を受け、サウナの利用が制限に。仲間との会話や、出かける場を失ったことで、気持ちどんどんふさがぎ込んでいったといいます。

## クリエイティブな視点で考える

元気を失っていく様子を心配した関係機関からの情報提供により、地域包括支援センターが相談を受けました。本人が望む「誰かと知り合う機会」を、サービスや仕組みで補うことは難しくありません。しかし、まだ人生の先が長く、できることも多くある。植物が好きで、知識が豊富なこの方は、「寄せ植えを教える」ことで元気になるかもしれない。本人の強みを活かすアイデアが浮かびます。

そこで、本人が教役として関わるができる「寄せ植え講座」の企画をまごころ



寄せ植え講座の作品

に相談。講座の企画から周知、開催までを引き受けてくれた。講座の終了後には、「また、集まりたい、違う植物も植えてみたいね。」と満足される参加者の皆さんの様子がありません。

地域包括支援センターでは、望む暮らしや状況を本人からしっかりと聞きとります。介護サービスや仕組みにつなげることで、望む暮らしを実現するとは限りません。その方が辿ってきた人生を背景に本人の強みをみつけ、その人らしさを大切にしたい支援を行っています。

高齢者等のご相談は  
寒河江市地域包括支援センター  
ハートフルセンター3F  
☎8510896

## 訪問入浴事業

### 最期まで、

### お風呂はみんなの幸せ時間

お風呂、好きですか？

清潔を保つのはもちろん、心身がほぐれるようにリラックスし、幸せを感じられる身近な手段であるお風呂。

高齢や障がいにより、自分でお風呂に入ることが難しくなっている方の「お風呂に入りたい！」を叶えるのが訪問入浴事業です。

訪問入浴に行けるのは、1日5件。

寒河江市だけではなく、西村山郡の4町にも範囲を広げて提供をしています。

訪問するスタッフは、看護師、介護の資格を有する専門知識が豊富な職員の3名。

「機能の低下により、デイサービスのお風呂に入れなくなりました。」

「病気や障害により自宅での入浴が難しい。」

「最期を自宅で迎えたい。」等、利用される方の理由はさまざま。

りがいを感じます。

課題といえば、余裕のある職員体制ではないことから、スタッフの体調が悪くなったら、利用者迷惑をかけるという心配。常には人材不足が問題になっている今、なかなか見つからないのが現実です。(特に看護師さんを大募集中。詳細はお知らせをご覧ください。)

社会福祉協議会では、経験豊富な職員が一人ひとりの希望に寄り添い、丁寧で質の高い訪問入浴を提供しています。

入浴は感染症の予防、身体機能の向上、心身のリラクゼーション効果により、生活の質を高めます。ベッド周りのスペースが狭く、浴槽を横に置けない場合でも、提供できる方法を考え、環境を理由に利用をお断りしたことはありません。**最期まで、を支えます**

「今日、お風呂の日じゃねえのかや。」と毎日のように、訪問入浴が来るのか家族にたずねる利用者さん。

「お風呂に入っている時間に、シーツ交換もお願いできるか

ほとんどが週1回の利用で、みなさんが次の一週間を楽しみにしています。

「こんにちは、社会福祉協議会です。」訪問入浴の職員がドアを開けると「いやあ、待ってた。お風呂の日が楽しみだよ。」と家族と一緒に笑顔で迎えてくれる利用者。

入浴の準備は、ベッドの横に持参の浴槽をセット。防水シートを敷き、床が濡れないようにします。入浴車から温かいお湯をホースで浴槽に入浴前には、看護師による体調のチェックを行った上で、メッシュ状の担架に身体を移乗します。担架にはハンドルがあり、回すとそのまま下がるので、浴槽につかることができる仕組みです。

### 満足と幸福を

「この前、久しぶりに東京から孫が帰ってきたんだ。」

「助かるわあ。」とご家族。「また具合悪くなったら頼むな。」とデイサービスを利用できるほど元気になり、卒業するという嬉しい報告も。

一方で、長く利用され亡くなられた方のご家族から、「入浴できれいにしてもらってから、旅立たせることができた。本当にありがとう。」と声をかけられたときには、胸が熱くなります。

社会福祉協議会では、誰もが最期まで「自分らしく暮らしたい」を叶える事業を行っています。

介護のご相談は  
社会福祉協議会介護福祉課  
ハートフルセンター2F  
☎8313207





寒河江青年会議所との協定式

## 災害ボランティアセンター運営等に関する協定を締結

災害ボランティアセンター運営に係る人材派遣やスコップなどの資機材の調達、専門技能を活かした支援活動の協力について寒河江青年会議所と災害時の協定を締結しました。今後も、平時からの連携により、災害時に円滑に対応できるネットワーク構築を推進いたします。

## 誰もがつながりを感じられる社会を目指して



濱野さん×牛木さん  
若い2人の熱いトーク

## みんなで学ぶ、災害時のボランティア

災害ボランティアセンターは、災害時に被災者の困りごとに対して生活の復旧に向けたボランティア活動を行うための組織です。社協ではセンター運営を円滑に行うため、運営協力員の登録を推進しています。今年度は丸の内運送(株)様より12名の団体登録がありました。年2回の研修会では、新

村山ブロッコボランティアの輪の研修会  
一般社団法人えんがお 代表理事  
濱野 将行さん  
濱野さんが取り組む「高齢者と若者をつなげるまちづくり」や、すべての人が日常的につながれる「ごちゃまぜの地域づくり」について

理解を深めました。第2部の東北芸術工科大学の牛木先生とのクロストークでは、「クリーンすぎる世の中。苦手をこちゃませにすると、思わぬ役割が生まれる。」助けて！と気軽にいえる世の中にしたい」など、お二人の視点で熱く語っていただきました。参加者から「まずはやってみよう！気軽に一歩が踏み出せそう。」前向きな感想も。若いお二人に元気をいただく研修会になりました。



床下土砂処理体験

## お口は健康のバロメーター 「お口から考える寝たきり予防研修会」

「噛む力や飲み込む力の維持が、元気に過ごすことにつながります。歯医者を嫌がらず、是非ご相談ください。」大久保明副院長（大久保歯科医院）がユーモアを交えながら、口腔ケアの必要性をお話してくださいました。「お口から考える寝たきり予防研修会」は65歳以上の市民を対象に地域包括支援センターが開催。「入れ歯は夜だけ洗っていたけど、毎回しないとダメなんですわね！」と驚く様子や、「もともと、歯医者が得意でないと足が向かなくなったが、これからは気軽に行ってみよう」と笑顔で帰られる参加者も。すべての元気もお口から。皆さんが熱心に質問される姿が、大変嬉しく感じました。

## ありがとうございます！

### — 寄付のお礼とご報告 —

皆さまよりあたたかい善意をいただきました。寄付金は地域福祉を支える事業に、また生活用品や食料品など物品は、必要な方や事業所に配分させていただきます。

#### ●寄付金

寒河江市盆栽クラブ  
会長 菅原 義幸様  
玉虫エコクラブ  
事務局 高橋 正吾様  
事務局長 高橋 正吾様  
代表取締役 鐘下 勝彦様  
匿名 様 3件

#### ●物品

長生園職員一同様  
セブンイレブン  
寒河江西根店様  
月山酒造(株)様  
JAささえ西村山女性部様  
J A さ げ 西 村 山 女 性 部 様  
ツルハホールディングス様  
国際ソロプチミスト寒河江様  
寒河江市シルバー人材センター  
女性会員様



J A さ げ 西 村 山 女 性 部 様

大沼 啓藏様  
菅野 啓子様  
村山美千子様  
細谷 章様  
土田 久子様  
菅野 啓子様  
渡部 真理様  
遠藤 啓一様  
岡崎由美子様  
松田 香様  
※令和4年3月から令和5年1月末日までにいただいた方を掲載しております。他、多くのご厚意をありがとうございます。

## 第72回 山形県民福祉大会

第72回山形県民福祉大会が令和4年11月14日(月)に開催されました。式典では、社会福祉功労者に対する表彰状の授与及び感謝状の贈呈があり、寒河江市からも3名が表彰されました。式典後には、「認知症が私たち家族にくれたギフト」と題し、ドキュメンタリー映画「ポケマスからよろしくお願ひします」の監督、信友直子氏の講演がありました。

開催趣旨である「住民が主体となり誰もが心豊かに暮らせる地域福祉の確立」を実現できるように取り組みをすすめたいと改めて感じたところです。

県知事表彰  
佐藤 富士夫氏  
県知事感謝状  
鈴木 一作氏  
県社会福祉協議会会長感謝状  
医療法人社団慈功会 佐藤歯科医院



出席された皆様 (会場：新庄市民文化会館)

## 2022寒河江市社会福祉協議会 会長表彰

多年にわたり社会福祉及びボランティアの各分野の発展に功労のあった方々を表彰いたしました。

### 会長表彰

#### ●町会長功労者

横山 一郎氏・伊藤 厚司氏

#### ●民生委員児童委員・主任児童委員功労者

太田美津子氏・佐藤とみ子氏  
大狭間 啓氏・佐藤 宣子氏  
花山 美穂氏・安孫子 誠氏  
渡邊 良子氏・佐藤恵美子氏  
遠田 榮子氏・佐藤 律子氏

鈴木 洋子氏・犬飼 一好氏  
高橋 恵子氏・加藤 善雄氏  
竹田 茂氏・鈴木いち子氏  
沖田 政明氏・阿部 礼子氏  
佐藤 勝則氏・大泉奈美子氏  
工藤 幸子氏・奥平 暁俊氏  
鈴木 洋子氏

### 会長感謝状

#### ●ボランティア活動功労者

有川 洋一氏・安達清一郎氏  
高林恵美子氏  
高子喜世枝氏  
小林とよ子氏  
小林 俊一氏  
栗野よしの氏

ありがとうございます！ — お礼とご報告 —

社協会費・赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金

町会長、民生委員児童委員各位の協力のもと、市民の皆さまをはじめ、事業所・団体・学校など、多くの方々よりご支援いただきました。厚くお礼申し上げます。  
皆さまからの善意は、地域の福祉向上のために運用させていただきます。

社会福祉協議会会費

合計 14,104,300円

一般会費	11,156件	13,387,200円
賛助会費	87件	182,100円
企業賛助会費	98件	535,000円

地域福祉の向上のため、社会福祉協議会の諸事業に運用させていただきます。

赤い羽根共同募金

募金額 4,860,336円

県共同募金会に集約され、翌年度、寒河江市の福祉団体活動や福祉施設の整備、地域福祉事業などへ配分されます。

歳末たすけあい募金

募金額 2,795,017円

民生委員児童委員の調査のもと、各地区の配分委員会を経て、支援を必要とする方々へお届けしました。  
要支援世帯 / 寝たきり高齢者 / 長期療養者 / 心身障がい児・者 / 認知症患者 準要保護児童世帯 / 福祉関係団体施設等

令和4年度寒河江市社会福祉協議会会費 企業賛助会員ご芳名 (敬称略)

青山建設(株)	(有)グリーン・プランテーション	(株)住吉屋食品	八松園(株)
曙プレーキ山形製造(株)	(株)建図	(有)スポーツ館	(株)花泉
朝日観光バス(株)	公平商事(株)	西部建材(株)	早坂肇税理士事務所
(有)アシスト	(株)こころの宿一龍	(株)総合葬祭天国社	(株)平野学園
安孫子経営教育研究所	小林ダクト工業(株)	(有)タイコー電機商会	布施建設(株)
(株)安孫子建築事務所	(有)佐藤紙店	太陽コーポレーション(株)	双葉重機リース(株)
(株)阿部林業	佐藤歯科医院	(有)高島屋本店	(有)古川板金工業所
(株)アールテック	佐藤繊維(株)	(株)高田地研	(株)マモル
伊藤建設(株)	寒河江印刷(株)	(株)高木	マルタ醸造(株)
(株)板坂商店	(株)寒河江技術コンサルタント	(株)宝工務店	丸菱食品(株)
犬飼建設(株)	(有)齋藤電機	武田久夫税理士事務所	(株)丸松青果
井上工業(株)	寒河江市金融団	(株)多田商店	(株)宮川製粉
樺津建設(株)	(株)寒河江自動車学校	第一相互物産(株)	(株)村建
大泉興業(株)	寒河江商事(株)	千代寿虎屋(株)	森田建設(株)
(有)大久保薬局	(株)寒河江測量設計事務所	(株)チェリーランドさがえ	(株)森谷家具センター
大富建設(株)	寒河江タクシー(株)	角田商事(株)	やぐらや
大沼工業(株)	(有)サガミ自動車	T P R工業(株)	(株)山形環境エンジニアリング
(有)鹿島重機	(株)サトー住販	東北グンゼ(株)	山形ハルタ(株)
(株)片桐塗装店	(株)さとう電熱	中央タクシー(株)	(株)山形ミートランド
月山酒造(株)	サラヤ(株)	(株)長陵	(株)ヤマゼン
菊地胃腸科内科医院	新寒河江生コンクリート(株)	(株)土田電気工事	(株)リプライ
菊池商事(株)	(株)進興製作所山形工場	東北村山建設(株)	(株)若月印刷
(株)木村ぶつだん	鈴木食品製造(株)	(有)中島屋菓子店	渡辺建設工業(株)
國井建設(株)	(有)鈴木木工	日東ベスト(株)	
(株)グートスイミングクラブ	(有)鈴健	芳賀水道(株)	

●福祉バス利用の予約を受け付けています

社会福祉関係機関及び福祉団体が実施する事業や研修会などに福祉バス(中型26人乗り)を運行します。  
・有料道路通行料や駐車場代は利用者負担  
・一日の走行距離はおおむね200kmまで

【問合せ】市民福祉課  
☎0237-8313220

●令和5年度ボランティア活動保険の加入受付が始まります

3月1日より令和5年度の受付を開始します。補償期間は令和5年4月1日から令和6年3月31日まで。活動保険料の助成も行っています。(条件があります)

【問合せ】市民福祉課  
☎0237-8313220

●訪問入浴事業の非常勤看護師を募集しています

ご都合に合わせて、時間や日数を調整して働くことが可能です。業務は介護の専門職と3名体制で行います。慣れるまでしっかりサポートしますので安心してください。詳しくは問合せください。  
必須資格 看護師、または准看護師

【問合せ】介護福祉課  
☎0237-8313207

●教育支援資金の貸し付けを行っています

他の貸付制度が利用できない低所得世帯を対象に高等学校・大学・短期大学・専修学校等に、修学するために必要な経費の貸付を行っています。詳しくは問合せください。

【問合せ】市民福祉課  
☎0237-8313220

●車イス各種機材貸出を行っています

車イスを一時的に必要とする方に短期貸出(1か月以内)をしています。  
また、子供会行事や町内会行事などの地域活動に各種機材を無料で貸出します。

●車イス ●ポップコーン機  
●綿菓子機 ●かき氷機  
●鉄板セット ●発電機

【問合せ】市民福祉課  
☎0237-8313220

●ゆめはーと寒河江 二元気にはばたけーの日

「4月からはじめて幼稚園や保育所に通うお友だちを応援したい!」という気持ちを込めて思い出作りにフォトスポットを設置します。お申し込みのお子さん、ささやかですがプレゼントがありますので、ぜひご参加ください。  
開催日時 3月8日(水) 10時~11時半  
開催場所 ゆめはーと内赤ちゃんな広場

●寒河江市老人福祉センターの「催し物」

参加対象者 4月からはじめて幼稚園・保育所に通うお子さん  
締め切り2月28日(火)  
【問合せ】寒河江市総合子どもセンター  
☎0237-8313225

「コグニサイズで健康寿命」「昔語り部」など楽しめる催し物を企画しています。希望される方には、バスでの送迎も可能です。日程、申し込み方法等、詳細は市報さがえに掲載しておりますのでご確認ください。  
【問合せ】寒河江市老人福祉センター  
☎0237-8711328

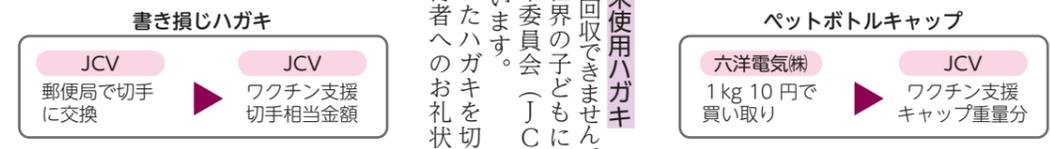
●リサイクルボランティアに協力ください

社協では、資源回収ボランティアを行っています。市民福祉課までお持ちください。  
プルタブ

※アルミ缶のプルタブのみ。スチール缶のプルタブ、缶詰のふたなどが混ざると回収できません。  
リングプル再生ネットワーク「プルネット」に送付しています。集まった重量により車イスが寄贈されます。寄贈された車イスは、貸出事業として地域の皆様に活用いただく予定です。  
ペットボトルキャップ  
※飲料のキャップのみ。調味料のキャップ、汚れているもの、ゴミなどが混ざると回収できません。

せん。ペットボトルキャップを原料として、油化装置で油(PE油)を作る六洋電気(株)に送付して

10円として買い取りした金額を、六洋電気(株)から「NPO法人世界の子どもにワクチンを」日本委員会(「JCV」)に寄付。寄付額が支援団体のワクチン支援に充てられます。ペットボトルの蓋は40個で約100gです。  
書き損じハガキ  
未使用ハガキ  
※消印のあるものは回収できません。  
「NPO法人 世界の子どもにワクチンを」日本委員会(「JCV」)に送付しています。  
JCVは寄付されたハガキを切手に交換し、寄付者へのお礼状などの送付に利用。切手金額分がワクチン支援に充てられます。はがき10枚(約400円相当のご寄付)でポリオワクチン20人分を届けられます。



## 1 社会的処方 ～人のつながりで まちが元気になるしくみ～

西 智弘さん（一般社団法人プラスケア代表理事）



社会的処方とは、「人のつながりが、孤独を解消する薬になる」という考え方。イギリスでは孤独担当大臣を設置し、国全体で社会的処方を進めています。日本でも社会的処方を文化とするべく、現役の医師である西智弘先生は「交流の場に無理に参加しなくても大丈夫。一人で過ごすのが好きな人もいます。ただ本人が孤独を感じないよう、存在を気に掛ける。名前や存在を忘れられてしまう『社会的行方不明者』をつくらないことが重要。」と新鮮な視点でつながりの重要性を教えてくださいました。「孤立・孤独に対して無関心にならないようにしたい。」「ルールや仕組みで解決するのではなく、小さく個人ができることから始めるのが大切なんですね。」また「いい意味でのおせっかいおじさんになりたい。」など、孤独という社会問題に、つながることの大切さ、身近にできることから始めたい。と思う市民の皆さんの感想を受け取りました。

## 2 社協の出前講座シリーズ いざという時の老い支度講座



地域包括支援センターの職員が曙町サロンに出前講座でお話をさせていただきました。認知症等で判断能力が不十分な方を支える成年後見制度等や、地域包括支援センターについて説明。皆さんからは「ケアマネージャーをお願いしたいときはどうするといいか？」など介護保険やサービス等の質問を多くいただきました。コロナ禍もあり、久しぶりに皆さんの元気な顔をみられたことが一番の収穫です。今後も地域の方が集まる機会にお話させていただきたいと思っておりますので、お声がけください。

## 3 老福センターまつりが大盛況



「これまでにない企画に感謝です。楽しかった。」「温かいどんどん焼きを数年ぶりに食べました。美味しかった！」と3年ぶりの開催にみなさん大喜び。60名の来場があり、懐かしのレコード鑑賞やクリスマスツリーの折り紙、おもしろ習字など、スタンプラリーで各ブースを体験。豚汁、どんどん焼き、綿あめ等のフードの無料提供や、カフェブースも満席の大盛況ぶり。センターの魅力を広く伝えられるように、お楽しみ企画をしていきますので、ご期待ください。



表紙の  
写真

「できますポケット」とくい活用型ボランティア講座の様子です。自分のできることや得意なことで、誰かに喜んでもらえる仕組みづくりのワークショップです。大学生から人生の先輩まで多くの方の参加がありました。「初対面の人と同じテーマで話ができるのが楽しかった。」と雰囲気を楽しんだ感想や、「人と違っていることはO.K！なんでもボランティアになるのですね！」と奉仕するだけではない、新たなボランティアの見え方につながりました。「できますポケット」ができるまではあと2回ワークショップがあります。ポケットの中身がみなさんの「とくい」でいっぱいになりますように！